



EDUCATION

「ステップアップ 未来への挑戦」

細野中学校

細野中学校では、生徒会を中心に「深信新進」を進める信頼 新たな学校へ前進」を生徒会スローガンとし、生徒会活動、学校行事や地域の活動に積極的に取り組んでいます。五月の体育大会では「己の力に限界なし 己の力を解き放て 限界突破」をスローガンに掲げ、赤団・青団全員が競技・応援のW優勝を目指し、最後まで競い合いました。全校ダンス「ホソノソーラン」では、両団長やソーラン実行委員を中心に振り付けや練習内容を考えて、自主的に取り組ましました。本番では、全校生徒がしっかりと声を出し、力一杯の演技を披露し、来賓や保護者、地域の方々に感動を与えられました。



㊤ ホソノソーラン ㊦ あいさつ運動

また、生徒会で「世界の子どもにワクチンを届けようキャンペーン」に参加し、地域の方々の協力を得ながらペットボトルキャップを回収し、現在までに275人分のワクチンを届けています。さらに、正面玄関横に「来校者がもう一度来たいと思う津氏は、九州のほぼ全域を手中に治め、九州統一まであと一步のところまで勢力を拡大させるのでした。(次号が最終話です...)」

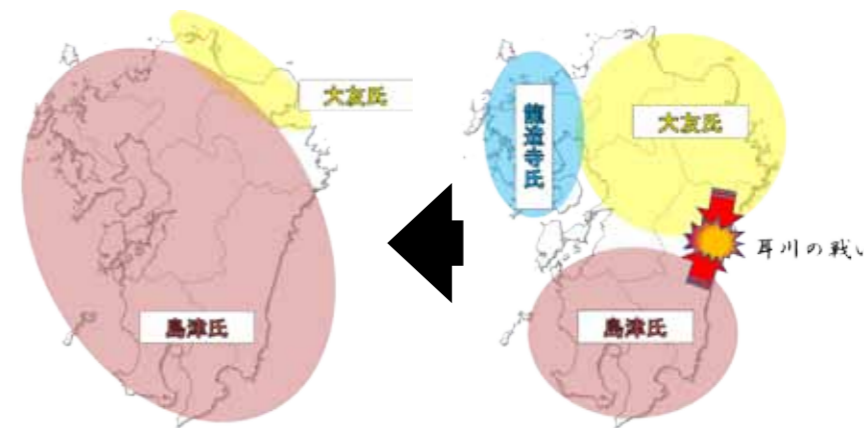


文化の足跡 TRACES

小林の大河ドラマ第四話「九州の覇者!? 島津氏」

Vol.61

小林を勢力下においた島津氏は、勢いそのままに次々と伊東氏の領地を手に入れていきます。島津氏の攻勢に耐えられなくなった伊東氏は日向国を追われ、豊後の大友氏を頼って落ち延びます。この時、九州は、北の大友、南の島津、西の竜造寺と三分されています。この中の誰が九州の王となるのかというような均衡状態のなか、動いたのが大友氏でした。大友氏は、伊東氏の願いを聞き入れ、日向の地を奪還するとの名目で兵を南下させます。かたや島津氏も迎え撃つべく、兵を北上させていき、両軍は木城町高城周辺で対峙することとなりました(耳川の戦い)。両軍併せて10万ともいわれる兵が大激戦を繰り広げ、この戦いに勝利したのは、島津氏でした。この戦いにより大友氏の勢力は弱体化していき、その後、竜造寺氏も打ち倒した島津氏は、九州のほぼ全域を手中に治め、九州統一まであと一步のところまで勢力を拡大させるのでした。(次号が最終話です...)



【お詫びと訂正】先月号で餅田古戦場跡の所在地を小林市南西方としていましたが、正しくは、小林市北西方です。お詫びして訂正いたします。



SPORTS

スポーツ競技団体の紹介④

ラージボール卓球「小林りんどう」

小林市在住のメンバー 16人で練習しています。小林市内や県外の大会に出場しています。初心者の方でも分かりやすく教えます。まずは、見学からでも良いので是非お越しください。

- ◆練習日時 毎週月曜・火曜・水曜・木曜 10時～12時
◆練習場所 南地区体育館
◆申・問 宮本和子 Tel 090 - 3739 - 8899



楽しく活動しています。一緒に汗を流しませんか?

黒木 美知子さん ㊤
安藤 久子さん ㊦

小林バスケットボールクラブ

西諸在住の男女約 20人で活動しています。試合には出場していませんが楽しく汗を流しています。男女問わず募集しています。一緒に体を動かしませんか?

- ◆練習日時 毎週水曜 20時～22時
◆練習場所 市民体育館
◆申・問 鈴木 絵里 Tel 090 - 7296 - 9327



男女仲良く活動しています。興味がある人は、一緒にバスケットボールをしませんか?

吉村 亮さん ㊤
石郷 あゆみさん ㊦



国際交流『シャネットの徒然なるままに』

WORLD

『じゃらいね!』

Vol.27

最近、最近、西諸弁はポスターキャンペーンで有名になってきていますね。方言は日本だけではないですよ。ドイツ語にも方言があります。私の生まれた地域の方言は、西諸弁みたいに、地もん(地元人)でない人たちに、大変分かりづらい方言です。言葉も、文法も、イントネーションも随分違い、まるで違う言語みたいです。歴史を辿ると、ドイツ語の標準語より、方言のシユヴェービツシユのほうが、1000年近く先に誕生したそうです。小さい頃、自分が方言を話していることは意識していませんでした。10歳ぐらいのころ中学校に上がり、周りの地域の子供達と一緒にになりました。初めて、自分がどんなに標準語から離れているか、分かってきました。大学の大学生たちと一緒にになり、標準語で喋ろうと



犬(いん=in)の西諸弁Tシャツ

してました。無理でした。やはり、耳が慣れていない音しか口が真似できないです。濁った『』が存在することさえも知らなかったのです。日本語を習い始め、先生に「せいさ」ではなくて、せいざ「だよ」と言われ、初めて音の違いに気付きました。日本語を習ったおかげで、ドイツ語を割と上手に話せるようになった。ところで、小林に来てからだんだん、私の日本語が標準語から離れてきています。大阪で、古い友達に会うと笑われます。喋り方が変だそうですが、まあ、嬉しいこと!少しでも小林に馴染んできたごちゃいごや。